

2 埋蔵文化財センター事業

(1) 受託事業

ア 発掘調査

委託者		所在地	遺跡名	面積 (㎡)	時代	関連事業名	備考
国土交通省	岩手河川国道事務所	北上市	千苺遺跡	21,740	縄文	北上川中流域河川改修事業	
		〃	立花南遺跡	634	縄文・古代	〃	
		〃	小鳥崎館跡	2,100	中世	〃	
		遠野市	新田Ⅱ遺跡	2,895	縄文	東北横断自動車道 釜石秋田線	
小計			4 遺跡	27,369			
岩手県	盛岡地方振興局 土木部	盛岡市	二又遺跡	2,830	古代	主要地方道盛岡和賀線道路改良工事	
	県南広域振興局 土木部	平泉町	伽羅御所跡	1,710	古代・中世	県道中尊寺通り改良事業	
		〃	花立遺跡	2,830	古代・中世	〃	
	県北広域振興局 土木部	二戸市	不動館跡	4,645	中世	一般県道改良事業	
	沿岸広域振興局 土木部	宮古市	松山館跡	16,000	中世	宮古西道路	
		奥州市	石田Ⅰ・Ⅱ遺跡	3,497	古墳・古代	経営体育成基盤整備事業 南下幅北部地区	
	県南広域振興局 農政部農村整備室	〃	沢田遺跡	790	古代	〃	
		〃	古城林遺跡	5,371	古代	経営体育成基盤整備事業 古城2期地区	
		〃	八反町遺跡	475	古代	〃	
		〃	漆町遺跡	6,568	古代	経営体育成基盤整備事業 都鳥3期地区	
		〃	小林繁長遺跡	5,400	古代	経営体育成基盤整備事業 白山地区	
		〃	石山遺跡	2,700	古代	経営体育成基盤整備事業 石山地区	
	県南広域振興局 農政部一関農村整備センター	一関市	石畑遺跡	1,089	古代	経営体育成基盤整備事業 日形地区	
小計			13 遺跡	53,905			
合計			17 遺跡	81,274			
市	宮古市 都市整備部	宮古市	白石遺跡ほか	—	宅地造成事業 (東日本大震災復興に伴う調査)		(参考) 県教委の試掘調査面積 90,000

エ 報告書の発刊

委 託 者		遺 跡 名	発刊部数	備 考
国土交通省 東北地方整備局	岩手河川国道事務所	芋田沢田Ⅳ遺跡	300	部
		芋田沢田Ⅵ遺跡		
		鶴飼遺跡	300	部
		大畑Ⅲ遺跡	300	部
		中嶋遺跡	300	部
	胆沢ダム工事事務所	下嵐江Ⅰ遺跡	300	部
		下嵐江Ⅱ遺跡		
大平野Ⅱ遺跡		300	部	
県南広域振興局	農政部農村整備課	八反町遺跡	300	部
		中畑城跡		
		安久沢東遺跡	300	部
		彼岸田遺跡	300	部
		田高Ⅱ遺跡	300	部
		銭倉遺跡	300	部
		要害遺跡		
		堤遺跡	300	部
		作屋敷遺跡	300	部
	農政部 一関農村整備センター	小野遺跡	300	部
		中神四日市遺跡		
		小野Ⅱ遺跡		
	盛岡市	都市整備部盛岡南整備課	飯岡才川遺跡第17次	300
飯岡才川遺跡 第18・19次				
宮古市	都市整備部建設課	佐原Ⅱ遺跡	300	部
合 計		22遺跡23件 (16冊)		
平成24年度発掘調査報告書			330	部

オ 講習会等事業

事業名	主な事業内容	開催予定時期等
第33回埋蔵文化財展	県立博物館の移動展と連携し、地元の文化財を中心とした展示を行う。	平成 24 年 11 月
第34回埋蔵文化財公開講座	埋蔵文化財への理解を深めるため、考古学等の最新の成果を研究者を招いて一般向けに分かり易く講演する。	平成 25 年 2 月
所報「わらびて」の発刊	岩手県文化振興事業団及び県内市町村教育委員会で行う発掘調査成果及び埋蔵文化財関係等の諸情報を提供する。	年 2 回 各1200部 No.126号～127号

(2) 自主事業

事業名	主な事業内容	開催予定時期等
(再掲) 第33回埋蔵文化財展	県立博物館の移動展と連携し、地元の文化財を中心とした展示を行う。	平成 24 年 11 月
第33回埋蔵文化財発掘調査技術講習会	埋蔵文化財調査に携わる県内市町村職員等の考古学上の特別研修として、職務に必要な知識・技能の習得を行う。	平成 24 年 12 月
現地説明会 現地公開	地域住民や報道関係者を対象に、文化財愛護思想の普及を図るため、遺跡の発掘調査成果を公開する。	発掘調査期間中
年報の発刊	当センターが平成23年度に実施した発掘調査・研究普及その他様々な業務を集約しその成果を掲載する。(500部)	平成 24 年 7 月
第15回遺跡報告会	調査遺跡の中から代表的な数遺跡について、スライド映写・遺物展示などで広く一般に調査成果を報告する。	平成 25 年 2 月 ※公開講座と同日開催
研究紀要の発刊	埋蔵文化財及び調査技術関連諸分野についての研究成果を掲載する。(500部)	平成 25 年 3 月
体験教室	小学生を対象として体験を通じて歴史や文化財への理解を深めてもらう。	平成 24 年 7 月